

臨時社員総会議事録(Ver.2)
一般社団法人獨協大学同窓会
令和6年7月30日

出欠確認 19:00

参加者確認(金井専務理事)

会場出席者 4 名、大西会長、山本副会長、菅沼副会長、金井専務理事

会場陪席者1名、沖山事務局長

オンライン出席者 12 名、(理事)飯塚、黒木、高橋、百田、佐藤、(代議員)高木、大坪、奥山前田、河野、澤田、田井中

書面行使 4 名、柘植(賛成)、中田(反対)、柳田(賛成)、亀崎(賛成)

委任状は無し、

代議員数は22 名であり過半数は12名です。

オンライン出席監事 2 名、富岡、友安

オンライン傍聴専門委員4名、鳥羽、中島、高木真、植村

【開会宣言】(大西会長)

代議員22名中、16名出席、書面行使4名です。総会が適正に成立するものと認めます。併せて、富岡監事、友安監事、中島監事が出席。また専門委員の鳥羽さんが傍聴されています。

議事録署名人選出(大西会長)

百田克己氏(理事)、田井中成元氏(代議員)、にお願いしたいと思います。

異議なしとなり、選出された。

決議事項1 【獨協大学同窓会 会費改定について】(大西会長)

本日の臨時社員総会開催に向けて、何名かの方々ご質問を頂いていましたが、議案の内容について、また大学との調整が必要な部分もございましたので返信出来ずにいました。この点に関しましてはお詫び申し上げます。本日、ようやくまとまった次第です。

本日審議頂く議案は前回と同様、同窓会費改定の件です。

同窓会終身会費は、現在、入学時に1万円、卒業時に任意で3万円頂いておりますが、これを、入学時に2万円、卒業時に任意で3万円に改定する事を前回審議頂きました。前回の議論では、入学時2万円としても、卒業時の任意徴収は2万円とし、合計は今と変わらず4万円(B 案)にする事を、多数の方々からご提案頂きました。しかし、今回審議頂く内容は、入学時2万円、卒業時の任意で3万円への改定の是非を問うものであります。その理由は、今後18歳人口の減少に伴い入学者数が減少する事を想定し、B 案では大きな変化は期待

できないとし、大学からはC案が指示されています。また今回の改定は32年ぶりであるため、指示するものであるが、数年単位のように頻繁な改定は好ましくない、との大学の見解でした。また新学長は、卒業生の活躍が大学の価値を高めるため、同窓会活動は活発に行って欲しい。とのご意見で、同窓会の活動を活発に頂くため、その体力を維持して頂きたいとのご意見を頂きました。

前回、委員会で検討された結果をご紹介します

(佐藤理事)

広報・ICT委員会からは次の通りです。

まず、前提として諸々の問い合わせに対して何もアクションがなく、検討中なのか無視されているのかが分からない。ビジネスマナーとしていかがなものか。改善提案をしているので最低限のリアクションはすべきではないか。

- 1) 値上げをする事のメリットを提示したい。さもないと一層入会率は低下するのでは。
- 2) 財政悪化であるならば、財政改善策を立てる事の方が先である。
- 3) 財政改善について新入会員にのみ負荷を強いるのは良くない。
- 4) 入学時2万円を代理徴収すれば、合計4万円のままで財政安定化に寄与できるのでは。また、その年間収入額に見合った支出額で活動すれば良い。
- 5) 終身会費に加え、維持会費制の導入を検討する。
- 6) 現役学生に対し、同窓会の認知度が低いので、この高揚策が必要。
- 7) 父母の会にも同窓会報を提供するなど、学生の保証人にも認知度を上げる必要がある。
- 8) 事務局員の更なる採用などは財政健全化を十分に考えていますか。

(山本副会長)

縦柳会での報告は次の通りです。

経費節減の努力は当然の事であるが、会費改定に向けて舵を切れるなら、このタイミングで遂行した方が良いとの結論です。

(菅沼副会長)

企画事業委員会ではメールにて意見を収集しました。

値上げよりも先に執るべきアクションがあるのでは。との意見が多く、学生への認知度を向上させたい、との意見です。

(澤田代議員)

昨今の経済状況を鑑みると、値上げによる入会率低下が最も心配です。活動に魅力があれば入会率の減少は回避出来ると思うので、皆さんの意見に有るように活動の幅を広げる努力が重要だと思います。1万円値上げされた事によって、何が出来るのか、または1万円値上げしないと何が出来なくなるのかが明確化されていなければ、値上げするべきではないと思います。

(大西会長)

現役学生への入会メリットを示す、という事ですが、改定された同窓会費の代理徴収が始

まるのは、2026年度入学生からですので、それまでに皆さんで新たな政策を検討する事も可能かと思います。

(黒木理事)

大学との交渉の話が示されましたが、値上げを前提にしていると思いますが、理事会や社員総会で、そのような値上げの話は全く出ていませんでした。このような状況で大学と値上げの話を進めるという事は、全く理解出来ません。また何かを起こす時は支出面の見直しが伴うべきです。先程の会費改定のシュミレーションに加えて支出シュミレーションがなければ片手落ちです。つまり、今の支出をどのように抑えるかの話を並行させなければならぬと思います。DUOには業務委託費として年間1千4百50万円が支払われていますが業務縮小して業務委託費がゼロにするとか、また、お聞きしたいのですが、10月から郵便料金がどのくらい値上げされるかご存知ですか。同窓会には大打撃です、金井さん郵便料金はいくら上がりますか。30%値上げされますよ。年2回の会報発送費ですが、今後どうなりますか。年2回の会報発送で1千2百万円使っています。今のデジタル時代にこのような出費を続けて行くのでしょうか。1千2百万円使うバカがどこにいますか。会報は年1回で十分でしょう。そしたらそこで6百万円浮きますよ。それにDUOの業務委託費を無くせば2千万円浮きますよ。そうしたら会費を値上げする必要は有りません。この辺を執行部の中で議論しているのか疑問に思います。

(大西会長)

大学との折衝の件は、前々回の理事会で共有させて頂いています。非公式で大学と折衝して値上げに対して理解を得ていることも情報共有して来ましたが、郵便料金についてですが、ゆうメールで発送している都合、30%の値上げにはならないと考えていますが、細かい数字は得られておりません。

(黒木理事)

私は理事会で議論したか、という事を言っています。

(大西会長)

理事会では質問が無かったので、報告に留まりました。

(山本副会長)

黒木さん、会報を年1回にするという事を唐突に言われましたが、初めて耳にします。会報は同窓会活動の一番の柱だと思います。ホームページと会報は重要な宣伝活動手段だと思いますが、年1回にしたら発送料が浮く、という話はあまりにも胆略的ではないでしょうか。

(黒木理事)

支出面の見直しをしていないで、どうして会費シュミレーションだけで値上げになるのか、を言ったのです。なので、支出面ではこうしてはどうか、という個人的な意見を言ったまです。それって悪いことですか。

(高木代議員)

前回の社員総会の後、継続審議になった訳ですが、今、会報の発行回数とか発送料の事とかを議論するのではなく、前回の臨時社員総会で検討した延長としての意見交換が必要に思います。つまり、入会率の低迷は入学時の学納金支払システムに web 決済が導入された事が一因かもしれない、との意見もありました。値上げによる更なる入会率の低下が最大の心配事項です。それでこの時勢で何も学生に対して行動策を示さないで値上げをする事は、入会率の低下に結びつくと思われます。値上げをして一層入会率が下がってしまったら取り返しがつかないと危惧します。資料ページのグラフを見ても、B 案でも現状よりは入会率の改善が示されています。

黒木さんが仰るような支出面の改善計画はこれから具体化させなければならぬと思いますが、今回会費改定を決議するなら、私は B 案を選択枝として採用頂くことを提案させていただきます。

(大西会長)

今回の決議事項は、C 案に賛成か反対か、を決議したいと考えています。

(高木代議員)

それでは「緊急動議」として B 案を選択枝に加えて頂くことを提案します。

(大西会長)

動議は認められますが、今動議を出すと、次回の総会でその案件を審議する規約だと思えます。

(飯塚理事)

以前にもありましたが、緊急動議として案件が上がれば、まず参加者の半数以上の承認をもって、動議を認めるかの採決が必要です。本日動議が上がり、それを次回の審議、という運営方法はありません。そのような考えはあまりにも未熟な運営です。

また、大西会長が先日開催された支部委員会で本案について意見交換しなかったのは職務怠慢です。支部委員会には5名の理事が所属しています。そして、先程、山本さんが、黒木さんが仰った、会報を年1回に減らす意見に対して、極論であると否定的なご意見でしたが、従来年4回発行してきた会報を年2回に減らしました。今後年1回にする事を検討課題に、という黒木さんが個人の意見を述べられる事は自然の成り行きであり、それを否定する必要はないと思います。

(大西会長)

それでは執行部で緊急動議の取扱いについて検討しますので、5 分間休憩とします。

19:50 まで休憩とします。

(大西会長)

それでは、高木さんから提案された動議を採用するか、採択したいと思います。

(高木代議員)

B 案を進める際の条文を提案します。

同窓会の会費は 4 万円とする。そのうち 2 万円については、入学年度の関係諸費用の一

部として大学に払い込む、大学の代理徴収による納付とする。残りの 2 万円については、卒業年度に授業料引き落とし口座から大学が自動振替による代理徴収を行う方法か、卒業予定者または保証人が個別に同窓会口座に支払う方法のいずれかにより納付する。以上です。

飯塚 賛成
黒木 賛成
高橋 棄権
百田 賛成
佐藤 賛成
高木 賛成
大坪 賛成
奥山 賛成
前田 棄権
河野 賛成
澤田 賛成
田井中 賛成
山本 反対
菅沼 反対
金井 反対

それでは、動議は成立しました。

また、議案として新たに B 案を加えるか否かの採決をとります。

飯塚 賛成
黒木 賛成
高橋 賛成
百田 賛成
佐藤 賛成
高木 賛成
大坪 賛成
奥山 賛成
前田 賛成
河野 賛成
澤田 賛成
田井中賛成
山本 反対

菅沼 反対

金井 反対

(大西会長)

それでは B 案を選択可能な議案に設定いたします。

大学との水面下の話し合いも必要になるため、今後、支出面の検討を含めて、C 案と B 案を協議することといたします。理事会で検討した後に改めて皆様に審議頂く事といたします。

(黒木理事)

大学との水面下の話は、大いに結構ですが、話の方向性を理事会で良く揉んでから、理事の理解を得て、意見のベクトル合わせをする事が必要だと思います。また、これだけ賛成意見があり、執行部はどう考えているか、お聞きしたいです。

(大西会長)

将来の予測なども取り入れて、資料を集めて参りましたが、ご理解が得られず大変残念に思います。これは私の力不足だと思います。

(奥山代議員)

今の話は、B 案含め検討するという事になっただけですよね。B 案が決定されたのではないですよね。従って論議するのは賛成ですが、今の会長の発言ですと B 案が出てきたことで C 案がダメになったという事ではなく、これから審議するのですよね。

(大西会長)

はい、その通りです。執行部としては C 案が最も良いとして提出した次第です。それを本日認められなかった事が残念に思います。

(奥山代議員)

休憩時間中に前田氏が仰った事に同意しました。論議が必要だと思います。B 案か C 案かの論議は次回出来る訳ですよね。

(大西会長)

その通りです。

(菅沼副会長)

議論する題材が、一つ増えた訳です。B 案と C 案。今後は、収支について増やせる事と減らせる事の計画を示して論議して行きたいと思います。両案は入学時の代理徴収額は 2 万円で共通ですから大学へ水面下で動く事はないと思います。理事会で検討してから動きたいと思います。

(飯塚理事)

菅沼さん、理事会で検討してと仰いましたが、今日の資料からは会費額と徴収方法で議論されています。またシュミレーションは学生数と入会率で試算されています。収入に加え支出の将来予測もシュミレーションして次回論議したいと思います。入ってくる金額のみ見

ているので、捕らぬ狸の皮算用になってしまったら話になりません。支出については削れる項目を具体的に出して、検討したいと思います。

(大西会長)

それでは次回の理事会で議論頂いた後に、皆さまと議論の場を設定します。

(澤田代議員)

同窓会の活動単位は支部が中心です。支部で本議案について意見の集約が出来ていない事は一番問題だと思います。大学との関係ですが、大学は連携する相手ではありますが、同窓会は大学の下部組織ではないので、大学の許可とる必要はありません。同窓会としての考え方をしっかり整理したうえで、大学と話すべきだと思います。また、「水面下で大学と話す」という表現には疑問を抱きます。水面下で話したことを社員総会でどうやってオープンに議論するのでしょうか。同窓会で議論した結果を尊重して大学との交渉に臨んで頂きたい思います。

(河野代議員)

本日の議論をうかがっていると、大学当局との水面下の話ばかりに聞こえます。一番大事な現役の学生の事が抜けていると思います。学生に、卒業したら同窓会に入会するか、調査をして欲しいと思います。資料は絵に描いた餅のように思えます。今、どのくらいの学生が同窓会を認知しているか、を調べてください。学生に対する活動を活発化させて同窓会の認知度を上げる努力が必要です。

(菅沼副会長)

澤田サさん、河野さんが仰った意見は、理事会の場に出てくるべき意見だと思います。また、大学との立場は縦の関係ではないことは重々承知していますが、大学に入学時の同窓会費を代理徴収してもらる件、大学は学費値上げを検討しているため、入学時学納金が増える事について、執行部は気を遣っています。

(飯塚理事)

現在代理徴収されている1万円の根拠について皆さんご存知でしょうか。これは、卒業アルバムを作成する事として入学時の代理徴収が始まった経緯があります。これが2万円になれば有難いのですが、合計を5万円にする必要はないと思います。水面下の話し合いとか仰っていますが、本当に同窓会の事を考えてお願いしたいです。会費を値上げしても入会者数が減少したらどうするのですか、皆さん、そこまで考えているのでしょうか。

(友安監事)

飯塚氏の発言で気になる点があります。代理徴収の1万円は確かに卒業アルバムの作成が絡んでいる事は理解していますが、これを表に出すと同窓会は収益事業を行っている事になります。つまり収益事業の届出や税金の問題が出てきますので、議事録の中には入れてはならない文言です。且つ、これを表に出して議論するのは良くありません。

(高橋理事)

執行部からの資料は収入についてが多く、支出に関する資料が少ないと感じています。

会費値上げしても、支出に於いて削減する項目も大まかでよいので明確にして頂き、資料として出して頂きたいと思います。会費収入が増えても人件費の補填で終わってしまう事を危惧しています。従って人件費の将来の見通しや会報の発行回数なども資料に加えて頂きたいと思います。またこれらは審議事項として取り上げて頂きたいと思います。削減する部分の方向性を明確化して頂きたいです。また増額する部分については、職域部会の参入なども踏まえて、資料の作成をお願いします。

(高木会議員)

B案が採択された場合に備え、条文をチャットで送りましたのでご覧ください。後程執行部にメールいたします。

「同窓会の会費は4万円とするそのうち2万円については、入学年度の関係諸費用の一部として大学に払い込む、大学の代理徴収による納付とする。残りの2万円については、卒業年度に授業料引き落とし口座から大学が自動振替による代理徴収を行う方法か、卒業予定者または保証人が個別に同窓会口座に支払う方法のいずれかにより納付する。」

(黒木理事)

本日皆さん出席されて、未だ発言していない方もいらっしゃいます。一言ご意見をうかがったらいかがでしょうか。

(大西会長)

会場の都合によりあと20分間の限られた時間です。手短にお願いします。

(百田理事)

理事会でも収支の資料、またエビデンスが今日もありませんでした。次回は事前に資料の準備をお願いします。判断材料が足りなく、意見がまとまらないのだと思いました。

(大坪代議員)

一番経費削減可能なものは、同窓会報だと思います。様々な書類がPDF化されている時代です。今後、時間をかけて会報はメールでの配布を検討しても良いと思います。

(高木代議員)

会報の電子化ですが、具体的にどのように配信するかという問題があります。つまり会員以外の方にも開示してしまうのか、大学ニュースのように。しかし、同窓会員へのサービスとして会報を発行するのであれば、一般開示は懸命ではありません。メルマガでの配信も一つの手段ですが、メルマガを希望する会員数が伸び悩んでいます。ホームページに掲載して会員のみ閲覧できるようにするには、パスワード制を導入する必要があります。これはシステムを考え直す必要もありますので、デジタル開示については、そう簡単には行かないと思います。

(田井中代議員)

継続審議に賛成します。もう少し時間をかけて検討をお願いします。会報については、デジタ

ルよりも印刷して配布したほうが、しっかり読む人は多いと思います。会報を減らすのは反対です。

(鳥羽専門委員)

私は B 案に賛成しています。皆さまのご意見、大変参考になりました。同窓会の発展を願っています。

(高木代議員)

前回、スタッフの新規採用について大変もめました。進展がありましたら教えてください。

(大西会長)

吉原さんが退職した後任として、8 月 1 日から採用を予定しましたが、諸般の事情により取り止めになりました。

(黒木理事)

諸般の事情とは何ですか。デユオの支出の 8 割が人件費であり、赤字で困っているという会社が常識的に考えて、新たに管理職を採用するという事は、全く理解出来ません。

(澤田代議員)

議案書の体裁を分かり易く作ってください。資料の羅列になっており、どこの部分が議案なのか不明確です。会議次第と議案書のタイトルが一致していないとか、ページが付いていないことも以前からお願いして来ましたが改善されていません。

(大西会長)

本日は長時間に議論頂きありがとうございました。次回は 9 月 28 日に臨時社員総会を予定していますので、よろしくお願いいたします。

以上

【議事録作成者】

沖山 秀司

【議事録署名人】

百田 克巳 ㊞

田井中 成元 ㊞

【会長・議長】

大西 純一 ㊞